

風邪引き地蔵

下手渡字町の北端、作ノ内に通ずるわかれ道の傍らに、約二尺ばかりの地蔵様が立っている。この地蔵様は子供の風邪引きに靈驗あらたかだというので、村内はもとより近郷近在から信者が集って来て、祈願する人々が後をたたない。保原・川俣間の県道筋にあるので、バスに乗って注意して窓の外をのぞくと縄で縛られた地蔵様がすぐ目につく。里びとの話によると、今から二百年前の昔、この下手渡に居酒屋があって、豪農として沢山の雇人を抱えて、立派な生活を営んでいた家があった。

そのころ、仙台あたりから赤ん坊を持つ若い女の人が事情があつて、年期奉公としてその家に働いていた。ある年のさつきの頃、その居酒屋の主人が下女に向つて「根廻の一反歩の田を今日中に田植を終えたら、お前の年期奉公をゆるしてやる。」といった。すると、下